施策評価シート(対象:R5年度実施施策)

総合計画の体系	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	担当部	市民活力推進部	
松口計画の体示	節	1	生涯にわたり楽しく学べる環境づくり	1년 크 마		

_____ 1. 節の概要

※●は評価主体

市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 **分野別将来目標** 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

市民一人ひとりが楽しく学び、その成果が活用されること により、更に学習意欲が高まり、生涯にわたり学習してい ます。

	成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	以木伯伝		実績	計画・目標 実績	実績	実績	まり 実績	実績	実績	実績	計画・目標 実績	実績
	4- 1年24 JB 1	実績 43人	_	_	_	_	55人	_	_	_	_	65人
(1)	生涯学習人財バンク登録者数	_	50人	54人	60人	62人	56人	54人	52人	51人		
2	市民活動支援コーナー利用者数	7,444人	_	_	_	_	8,000人	_	-	_	_	8,500人
2		ĺ	9,326人	9,345人	9,406人	8,918人	1,077人	2,028人	2,343人	3,027人		
3				_	ſ	_		ĺ	ĺ		_	
0)		ĺ										
4				_	ſ	_		ĺ	ĺ		_	
4		1										
5			_	_	_	_		_	_	_	_	
(3)												

	 施策の内容	R5年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	争扬争未致	順調	概ね順調		
1	生涯学習機会の充実	57, 176	1	0	1	0	市民協働推進課
2							
3	学習成果の活用	243	1	0	1	0	市民協働推進課
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
	計	57, 419	2	0	2	0	

総合計画	章(施策の柱)	1 教育文化・コミュニティ	評価主体(部名)	市民活力推進部
の体系	節	1 生涯にわたり楽しく学べる環境づくり	評価者名	田口
評価主体か 推進する 施策の概要	(2)情報提供・相談((3)学習成果の活用	の充実:多様化する市民の学習ニーズに対応し、市民一体制の充実:市民の主体的な学習活動を支援するため、 は、生涯学習に取り組む事によって得た知識や技術を活 となるである。	生涯学習に関する情報	提供や相談機能の充実を図る。

3. 節の分析(部が展開する節の分析)

(説明) (1)やしお生涯楽習館の利用者数は45,610人で多くの市民に利用 されている。また、安全に施設が利用できるよう修繕を実施し 施策の (2)情報提供や相談体制の充実を図り、市民活動支援コーナーの 実施状況 利用者数は3,027人であった。 (3)「生涯学習人財バンク」を活用して、様々な講座を実施し た。また、その成果発表の場として、実行委員会と協働でやしお コラボフェスタを開催した。 ●ある程度課題がある 課題はほとんどない 大きな課題がある ・やしお生涯楽習館は、1995年の開館から長期間が経過し、施設 の老朽化が顕著となっているため、計画的な改修等が必要であ 課題 ・各種講座やイベントの開催においては、参加団体等が固定化し つつあるため、市民ニーズをとらえた講座の実施や新たな参加者 の発掘が課題となっている。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆	人財バンクの登録者数は概ね目標値を達成しており、市民活動支援コーナーの利用者数も、コロナが落ち着きはじめ、回復傾向にある。
概ね順調	また、設備の定期点検や修繕などにより、市民が安心して利用できる場を提供している。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

5. 今後の方針	計(部が展開する節の方針)	
	□ 現状のまま推進 見直して持	生進 大幅に見直して推進
方向性		:ル(拉本)
施策の展開方針	・やしお生涯楽習館は、生涯学拠点施設として、人財バンクニーズをとらえた各種講座や・市民活動に関する情報発信・ナー機能の充実を図る。・安全に安心して利用していた進める。	能化(拡充) 縮小 その他 その他 学習をすすめるための市民活動の や市民活動団体と連携し、市民イベントの開催する。 や相談など、市民活動支援コー ただけるよう計画的に施設改修を
■重点事業(音	部で5事業まで)	
施策コー 章 節 施	—— 磁簧///风炎	事務事業

	施策コード			施策の内容	事務事業					
	章	節	施策	心泉の内谷	₱/万尹未					
1	01	01	01	生涯学習機会の充実	やしお生涯楽習館運営事業					
2										
3										
4										
5										

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

		別似】即を悔成する事務事業の評価結果(対象年度RD年度) ※■は評価主体を表す NU.1													
主体		ŧコ- 節	- ド 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R5年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性		資源 労働量
	01			やしお生涯楽習館運営事業				市民活力推進部	市民協働推進課	57, 176	•	☆☆	現状のまま継続		
	01			生涯学習活動推進事業				市民活力推進部	市民協働推進課	243	0	**	現状のまま継続		
H															
H															
H															
H															
H															
H															
H															
┢															
H															
H															
H															
L															
Ĺ															
Ĺ															
	57,420 部の 事業費計														
				【細題】 ・細題/ナ/エレ/	15+		$\overline{}$	セフロ 英田 昭 45 セフ	▲ . + キ+>== 貼が:	セフ / 『紗入記	/TT 1 A	A A 1117 - 12	1 TOT 1	_ 비포 =표	٠٢ التار

施策評価シート(対象:R5年度実施施策)

	202141 Im 5 1 723224 1 110	
総合計画の体系 章 (施策の柱)	1 教育文化・コミュニティ	担当部 ● 企画財政部
総口引曲の体系 節	2 次代を担う人づくり	世 当 即

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の連携が強化され るとともに、小中一貫教育が一層推進される中で、きめ細 やかな教育が行われ、家庭・学校・地域が一体となって、 子どもたちが健全に成長できる環境を整えています。ま た、子どもたちは等しく教育を受ける機会を得ており、安 全で安心な教育環境のもと豊かな学校生活の中で「確かな 学力」「生きる力」を身に付けています。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標				計画・目標			計画・目標	
			実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	全国学力学習状況調査の平均正答率の全	小学校 △4.6P 中学校 △7.0P	_	_	_	_	小学校 ±0P 中学校 ±0P	_	_	_	_	小学校 +5 P 中学校 +2 P
	国との差	_	小△4.6中△6.6	小△3.1中△5.1	小△3.1中△5.1	小△1.7中△6.3	未実施	小△1.0中△2.9	小△1.9中△4.2			
0	不登校児童生徒発生率	小学校 0.31% 中学校 2.70%	_	_	_	_	小学校0.2%以下 中学校2.1%以下		_	_	_	小字校0.1%以 下 中学校2.0%以
	小豆仅儿里王促光 <u>工</u> 牛	_	小0.37 中2.55	小0.58 中3.93	小0.49中3.97	小0.33中3.52	小0.68中2.67	小0.70中5.30	小1.34中5.61			
3	学校給食における残食率	小学校3.8% 中学校13.4%	_	_	_	_	小学校2.0% 中学校8.0%	_	_	_	_	小学校1.5% 中学校7.0%
0	予以相及における及及中	_	3. 8%	2. 0%	0. 097	小7.9%中 10.2%	未実施	未実施	小9.6%中 11.7%			
	特別支援教育介助員	市内小学校に9 人配置	_	_	_	_	市内全小中学 校に15人配置		_	_	_	市内全小中学校 に20人配置
4	17 加入饭铁百万切员	_		15人	13人	14人	15人	16人	17人			
(5)			_	_	_	_		_	_	_	_	
		_										

	施策の内容	R5年度	事務事業数		総合評価		担当課	
		事業費(千円)	争伤争未数	順調	概ね順調	遅れ		
1	教育内容の充実	13, 035	2	1	1	0	小中一貫教育指導課	
2	教育環境の充実	1, 346, 401	13	4	9	0	教育総務課	
3	指導体制の充実	40, 154	7	6	1	0	教育総務課、学務課、小中一貫教育指導課	
4	食育、健康・安全教育の充実	746, 679	5	1	4	0	学務課、小中一貫教育指導課	
5	特別支援教育の充実	500	1	0	1	0	小中一貫教育指導課	
6	教育相談の充実	1, 631	2	0	2	0	小中一貫教育指導課	
7	家庭や地域と一体となった教育体制の充実	1, 660	2	0	2	0	学務課、小中一貫教育指導課	
8	幼児教育の推進	354, 362	3	2	1	0	教育総務課、小中一貫教育指導課	
9	高等教育機関との連携	0	1	1	0	0	企画経営課	
10	学校ICT教育の充実	180, 533	2	0	2	0	教育総務課	
	計	2, 684, 955	38	15	23	0		

総合計画	章(施策の柱)	1 教育文化・コミュニティ	評価主体(部名)	企画財政部
の体系	節	2 次代を担う人づくり	評価者名	香山
評価主体が 推進する 施策の概要	高等教育機関との法生涯学習を推進する	連携 るとともに、グローバルな人材の育成、専門的な知識や	情報等の資源を活用し	た教育環境の充実等を図る。

3. 節の分析	(部が展開する節の分析)
施策の 実施状況	(説明) 平成26年7月4日に、聖徳大学・聖徳大学短期大学部と包括的連携に関する協定を締結した。 平成29年3月28日に、国士舘大学と包括的連携に関する協定を締結した。 平成29年6月21日に、淑徳大学と包括的連携に関する協定を締結した。 令和4年2月24日に、日本薬科大学と包括的連携に関する協定を締結した。
	課題はほとんどない ■ ある程度課題がある 大きな課題がある
課題	包括連携協定を締結している各大学との連携を充実させる必要がある。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

_	M H. I III	(中の) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大
	総合評価	評価理由
	☆☆ 概ね順調	包括的連携に関する協定を締結している大学を中心に「八潮こども夢大学」や「八潮こども防災マイスター」等の連携事業を実施しているため、概ね順調と評価した。

F 今後の七針 (如が展問する筋の七針)

5. 今後の方針	汁(部が展開する節	「の方針)			
	現状のまま推進	●見直して推	進	大幅に見直して	て推進
方向性	· · · · · · · · · · · · · · · · ·		· 比(拡充)	縮小	■ その他
施策の展開方針	(説明) 引き続き、包括的に連携事業を実施いく。 また、包括的連携 るため、連携手法	しながら、高に関する協定	等教育権	機関との連打 した連携事業	馬を強化して 業の充実を図
	部で5事業まで)				
施策コー	۲				

	施領	長□-	ード	施策の内容	事務事業					
	章	節	施策	ル東の内谷	学 协学术					
1	01	02	09	高等教育機関との連携	高等教育機関連携事業					
2										
3										
4										
5										

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果(対象年度R5年度)

※■は評価主体を表す

主	策	コー	-ド	事務事業名	主	戦	公	担当部	担当課	R5年度事業費	課題	総合評価	方向性		資源
体章			施策		要	略	約			(決算額:千円)	_			事業費	労働量
0	_			教育指導推進事業				教育部	小中一貫教育指導課	10, 481	0	☆☆	見直して継続	増加	現状維持
0	_			小中一貫教育推進事業				教育部	小中一貫教育指導課	2, 554	0	☆☆☆	見直して継続		現状維持
0				入学準備金・教育資金貸付事業				教育部	教育総務課	3, 008	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	
0	_			小学校管理事業				教育部	教育総務課	242, 490	0	☆☆		現状維持	
0	_			中学校管理事業				教育部	教育総務課	140, 440	0	☆☆		現状維持	
0	_			小学校施設整備事業				教育部	教育総務課	292, 899	0	☆☆		現状維持	
0	_			中学校施設整備事業				教育部	教育総務課	172, 585	0	☆☆		現状維持	
0				小学校教育振興事業				教育部	教育総務課	31, 898	0	☆☆	現状のまま継続		現状維持
0	_			中学校教育振興事業				教育部	教育総務課	27, 555	0	☆☆		現状維持	
0				小学校就学援助事業				教育部	教育総務課	16, 003	_	***		現状維持	
0	_			中学校就学援助事業				教育部	教育総務課	19, 418	_	***	現状のまま継続	現状維持	
0	_			高等教育振興事業				教育部	教育総務課	12	_	***	現状のまま継続		現状維持
0				学校建設基金事業				教育部	教育総務課	400, 092	\circ	***	現状のまま継続		現状維持
0				小学校大規模改修事業				教育部	教育総務課	0	0	☆☆	他事業と統合して継続	現状維持	現状維持
0	_			中学校大規模改修事業				教育部	教育総務課	0	\circ	☆☆		現状維持	
0	1 (小学校活動助成事業				教育部	教育総務課	1, 471	_	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
0	1 (02		中学校活動助成事業				教育部	教育総務課	2,625	_	***	現状のまま継続	現状維持	現状維持
0				教職員人事管理事業				教育部	学務課	479	\circ	***	現状のまま継続	現状維持	
0	1 (02	03	教職員資質向上事業				教育部	小中一貫教育指導課	0	\circ	**	他事業と統合して継続	現状維持	現状維持
0	1 (02	03	少人数指導充実事業				教育部	小中一貫教育指導課	0	\circ	***	他事業と統合して継続	現状維持	現状維持
0	1 (02		地域人材活用推進事業				教育部	小中一貫教育指導課	2, 427	\circ	2	他事業と統合して継続		現状維持
0	1 (02	03	語学指導充実事業				教育部	小中一貫教育指導課	33, 152	\circ	***	見直して継続	増加	増加
0	1 (02	04	学校保健事業				教育部	学務課	38, 614	\circ	2	見直して継続	現状維持	現状維持
0	1 (02	04	学校給食費援助事業				教育部	学務課	25, 915	\bigcirc	2	現状のまま継続	削減	現状維持
0	1 (02	04	医療費援助事業				教育部	学務課	51	\bigcirc	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
0	1 (02	04	学校給食・食育推進事業				教育部	学務課	682, 086	•	$^{\uparrow}$	見直して継続	増加	増加
0	1 (02	04	健康安全教育推進事業				教育部	小中一貫教育指導課	14	\circ	$^{\uparrow}$	見直して継続	増加	増加
0	1 (02	05	特別支援教育推進事業				教育部	小中一貫教育指導課	500	\circ	$^{\uparrow}$	見直して継続	増加	増加
0	1 (02	06	教育相談体制整備事業				教育部	小中一貫教育指導課	24	\circ	☆☆	他事業と統合して継続	現状維持	増加
0	1 (02	06	教育相談所運営事業				教育部	小中一貫教育指導課	1,606	0	$^{\diamond}$	見直して継続	増加	増加
0	1 (02	07	学校運営改善事業				教育部	学務課	1, 585	0	$^{\diamond}$	現状のまま継続	削減	現状維持
0	1 (02	07	学校・家庭・地域相互連携体制促進事業				教育部	小中一貫教育指導課	75	\circ	$^{\diamond}$	他事業と統合して継続	現状維持	現状維持
	-									0	部の事	業費計			

						_		-/						18 -	NU. Z
主 体	施第章	€コ− 節		事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R5年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入事業費	資源 労働量
П	01	02		子育てのための施設等利用給付事業	^		,,,,	教育部	教育総務課	353, 129	0	$2 \times 2 \times$	現状のまま継続	現状維持	
П	01	02		幼稚園振興事業				教育部	教育総務課	1, 201	0	$^{\updownarrow}$	見直して継続	増加	増加
П	01	02		幼保小連携事業				教育部	小中一貫教育指導課	32 🔾		☆☆	現状のまま継続		
	01	02		高等教育機関連携事業				企画財政部	企画経営課		0	2	現状のまま継続	現状維持	増加
	01	02	10	校務ICT推進事業				教育部	教育総務課	83, 972	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
П	01	02	10	学校ICT教育推進事業				教育部	教育総務課	96, 562	0	$^{\updownarrow}$	現状のまま継続	増加	増加
Ц															
Ш															
Ц															
Ш															
Ш															
Ц															
Ц															
Ш															-
Н															
Ц	_														
Н															
Н															
Н	<u> </u>														
Н															-
Н	-														
Н	-														
Н	\vdash														
Н	\vdash														
Н	-		_												
H			<u> </u>	l .		<u> </u>	<u> </u>			0	並の重	[[業費計			
				▼	10.7		_	上 7 fp 去 = 1 1 1 7		U			21 A A ADT L	- WIII - AII	↓ ` □ I.

施策評価シート(対象:R5年度実施施策)

	202141 Im 2 1 (232)4 1 110	
総合計画の体系 章 (施策の柱)	1 教育文化・コミュニティ	担当部 ● 教育部
「「「「「「」」 「「」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「	2 次代を担う人づくり	企画財政部

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の連携が強化され るとともに、小中一貫教育が一層推進される中で、きめ細 やかな教育が行われ、家庭・学校・地域が一体となって、 子どもたちが健全に成長できる環境を整えています。ま た、子どもたちは等しく教育を受ける機会を得ており、安 全で安心な教育環境のもと豊かな学校生活の中で「確かな 学力」「生きる力」を身に付けています。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標							計画・目標			計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	全国学力学習状況調査の平均正答率の全	小学校 △4.6P 中学校 △7.0P	_	_	_	_	小学校 ±0P 中学校 ±0P	_	_	_	_	小学校 +5 P 中学校 +2 P
	国との差		小△4.6中△6.6	小△3.1中△5.1	小△3.1中△5.1	小△1.7中△6.3	未実施	小△1.0中△2.9	小△1.9中△4.2	小0.2中△3.8		
	不登校児童生徒発生率	小学校 0.31% 中学校 2.70%	_	_	_	_	小学校0.2%以下 中学校2.1%以下		_	_		小学校0.1%以下 中学校2.0%以下
	小豆仅儿里工促光工平 	_	小0.37 中2.55	小0.58 中3.93	小0.49中3.97	小0.33中3.52	小0.68中2.67	小0.70中5.30	小1.34中5.61	小1.66中7.04		
(2)	学校給食における残食率	小学校3.8% 中学校13.4%	-	_	_	-	小学校2.0% 中学校8.0%	_	_	-	_	小学校1.5% 中学校7.0%
	子仅相及における及長平	_	3. 8%	2.0%	0. 097	小7.9%中 10.2%	未実施	未実施	小9.6%中 11.7%	未実施		
	特別支援教育介助員	市内小学校に9 人配置	_	_	_	_	市内全小中学 校に15人配置		_	_	_	市内全小中学校 に20人配置
4	17 加入饭铁百万切员	_		15人	13人	14人	15人	16人	17人	18人		
(5)			_	_	_	_		_	_	_	_	
		_										

	施策の内容	R5年度	事務事業数		総合評価		担当課			
		事業費(千円)	争伤争未数	順調	概ね順調	遅れ				
1	教育内容の充実	13, 035	2	1	1	0	小中一貫教育指導課			
2	教育環境の充実	1, 346, 401	13	4	9	0	教育総務課			
3	指導体制の充実	40, 154	7	6	1	0	教育総務課、学務課、小中一貫教育指導課			
4	食育、健康・安全教育の充実	746, 679	5	1	4	0	学務課、小中一貫教育指導課			
5	特別支援教育の充実	500	1	0	1	0	小中一貫教育指導課			
6	教育相談の充実	1, 631	2	0	2	0	小中一貫教育指導課			
7	家庭や地域と一体となった教育体制の充実	1, 660	2	0	2	0	学務課、小中一貫教育指導課			
8	幼児教育の推進	354, 362	3	2	1	0	教育総務課、小中一貫教育指導課			
9	高等教育機関との連携	0	1	1	0	0	企画経営課			
10	学校ICT教育の充実	180, 533	2	0	2	0	教育総務課			
	計	2, 684, 955	38	15	23	0				

総合計画	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	評価主体 (部名)	教育部
の体系	節	2	次代を担う人づくり	評価者名	猪原
評価主体が	学が困難な児童生行	走の化	児童生徒が一日の大半を過ごす学校施設の安全確保と 保護者及び特別支援教育を受けている児童生徒の保護 児を持つ保護者の経済的な負担を軽減するため、幼稚	者に学用品費等を援助	助し、義務教育の円滑な遂行を図る。幼児教育の推
推進する 施策の概要	は、きめ細やかなる	学習 担童	指導や生徒指導の充実に努めるほか、特別支援教育の 生徒が健康で安全な生活を送るために、家庭・学校・	充実を目指し、発達隊	章がいを含めた多様な教育的ニーズに応えるよう努

3. 節の分析(部が展開する節の分析)

(説明) 教育内容の充実では、小中一貫教育の推進で、学力・体力の向 上と豊かな心の育成を図り、教育環境の充実では、新設小学校開 |校までの期間の教室不足に対応するための大瀬小学校の増築校舎 (図書室)の整備、小学校4校の体育館の空調設備工事の発注及 施策の |び同工事の小学校4校の実施設計の契約を行った。また、就学困 実施状況 |難な児童生徒の保護者に対し、就学費用の一部を援助した。幼児 教育の推進では、保護者に保育料等の一部を、幼稚園には、運営 経費の一部を助成した。学校給食では将来構想である学校給食ビ ジョンを策定した。教育指導の充実では、教育相談所での指導体 制の充実を図った。 ●ある程度課題がある 課題はほとんどない 大きな課題がある 食育、健康・安全教育の充実では、安全で安心な新たな学校給

食提供体制を早急に構築する必要がある。教育内容の充実では、 全国学力学習状況調査の結果では課題が見られ、学力向上を図る |必要がある。教育相談の充実では、特別な配慮を要する児童生徒 や様々な悩みを抱える児童生徒及び保護者が増加している状況を 鑑み、教育相談所の再整備に向けて準備を進める必要がある。

教育環境の充実では、新設小学校の整備、小中学校校舎等の施 設の修繕及びICT教育の環境整備等の教育環境の整備全般に膨 大な費用が必要となるため、その財源の確保が課題である。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

課題

総合評価	評価理由
	教育環境の充実では、新設小学校が開校するまでの期間の教室 不足に対応できた一方で、八潮市学校施設長寿命化計画の取組に 遅延が生じている。幼児教育の推進では、保護者や幼稚園に対し 一部助成を継続して実施した。学校教育関係では、コロナ禍後に 取組を再開した事業が多くあるほか、新たな学校給食提供体制の 確立に向けて学校給食ビジョンを策定することができた。以上の ことから、概ね順調と判断した。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

				●現状のまま推進	見直	して推進		大幅に	見直し	て推進	
	方向	性			· —	. – – – – . 1					-
						重点化(拡充)	Í	縮小		その他
月	施策	計	大はぬ音別員部に営るのの行済	説明) 教育体の の向指導を を を かかなのの が が が が が が が が が が が が が が が が が が	豊かな真動から、 動物る、は活るは4年定日図費育の でのめて年決期を学教育の がは手のののでののです。のの がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、	ふるをまたない。 の育をまたなど 一般にある。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。	を配実給い教 校向材一就援を配実給い教 校向材一就援助 という かけのル学助	らんご是等目 を 青觜団ん。、は供に談 備工査想難、指指、体対の ス事なにな義	導導学制応充 ケとど向児務体体校をす実 ジ並各け童教	制制合構るで、ユテ重、生育のの食築たは、一し準1徒の	充充こすめ レて備ごこり実実よる、教 を学をTは滑でとる。教育 十校進教、なき食特職相 分運め育そ遂
= 3											
	施策コー			施策の	内容		事務事業			業	
1				数女母培の女生	•	, Is	半大七	- ≒几 事々	供事3	<u>Ł</u>	

	施領	€コ-	ード	施策の内容	事務事業
	章	節	施策	ル泉の内谷	学 切 学术
1	01	01 02 02		教育環境の充実	小学校施設整備事業
2	01	02	04	食育、健康・安全教育の充実	学校給食・食育推進事業
3	01	02	01	教育内容の充実	小中一貫教育推進事業
4	01	02	06	教育相談の充実	教育相談所運営事業
5	01	02	10		学校ICT教育推進事業

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)

☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

主施	策コ-		事務事業名	主	戦	公	担当部	担当課	R5年度事業費	課題	総合評価	方向性	投入	資源
体 章	節	施策		要	略	約			(決算額:千円)	环咫	心口口口叫		事業費	労働量
1 01	02	01	教育指導推進事業				教育部	小中一貫教育指導課	10, 481	0	2	見直して継続	増加	現状維持
1 01	02	01	小中一貫教育推進事業				教育部	小中一貫教育指導課	2, 554	0	$^{\uparrow}$	見直して継続	現状維持	現状維持
1 01	02	02	入学準備金・教育資金貸付事業				教育部	教育総務課	3,008	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加
1 01	02	02	小学校管理事業				教育部	教育総務課	242, 490	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 01	02		中学校管理事業				教育部	教育総務課	140, 440	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 01	02		小学校施設整備事業				教育部	教育総務課	292, 899	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 01	02	02	中学校施設整備事業				教育部	教育総務課	172, 585	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 01	02	02	小学校教育振興事業				教育部	教育総務課	31, 898	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 01	02	02	中学校教育振興事業				教育部	教育総務課	27, 555	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 01	02	02	小学校就学援助事業				教育部	教育総務課	16, 003	1	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 01	02	02	中学校就学援助事業				教育部	教育総務課	19, 418	_	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 01	02	02	高等教育振興事業				教育部	教育総務課	12	_	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 01	02	02	学校建設基金事業				教育部	教育総務課	400, 092	0	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 01	02	02	小学校大規模改修事業				教育部	教育総務課	0	0	☆☆	他事業と統合して継続	現状維持	現状維持
1 01	02	02	中学校大規模改修事業				教育部	教育総務課	0	0	☆☆	他事業と統合して継続	現状維持	現状維持
1 01	02	03	小学校活動助成事業				教育部	教育総務課	1, 471	_	2	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 01	02	03	中学校活動助成事業				教育部	教育総務課	2, 625	-	$^{\updownarrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 01	02	03	教職員人事管理事業				教育部	学務課	479	0	$^{\updownarrow}$ $^{\updownarrow}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 01	02	03	教職員資質向上事業				教育部	小中一貫教育指導課	0	0	2	他事業と統合して継続	現状維持	現状維持
1 01	02	03	少人数指導充実事業				教育部	小中一貫教育指導課	0	0	2	他事業と統合して継続	現状維持	現状維持
1 01	02	03	地域人材活用推進事業				教育部	小中一貫教育指導課	2, 427	0	☆☆	他事業と統合して継続	現状維持	現状維持
1 01	02	03	語学指導充実事業				教育部	小中一貫教育指導課	33, 152	0	2	見直して継続	増加	増加
1 01	02	04	学校保健事業				教育部	学務課	38, 614	0	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
1 01	02	04	学校給食費援助事業				教育部	学務課	25, 915	0	$^{\uparrow}$	現状のまま継続	削減	現状維持
1 01	02	04	医療費援助事業				教育部	学務課	51	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1 01	02	04	学校給食・食育推進事業				教育部	学務課	682, 086	•	☆☆	見直して継続	増加	増加
1 01	02	04	健康安全教育推進事業				教育部	小中一貫教育指導課	14	0	☆☆	見直して継続	増加	増加
1 01	02	05	特別支援教育推進事業				教育部	小中一貫教育指導課	500	0	☆☆	見直して継続	増加	増加
1 01	02	06	教育相談体制整備事業				教育部	小中一貫教育指導課	24	0	☆☆	他事業と統合して継続	現状維持	増加
1 01	02	06	教育相談所運営事業				教育部	小中一貫教育指導課	1,606	0	☆☆	見直して継続	増加	増加
1 01	02	07	学校運営改善事業				教育部	学務課	1, 585	0	☆☆	現状のまま継続	削減	現状維持
1 01	02		学校・家庭・地域相互連携体制促進事業				教育部	小中一貫教育指導課	75	0	☆☆	他事業と統合して継続	現状維持	現状維持
									2, 684, 956	部の事	業費計			
					_	_	+ -m							

※■は評価主体を表す

			再ル9 の事務事業の計画和末(別						DE 4 4 4 4 4 4					NU. Z
主体置		ɪ — ド j		主 要	戦略	公約	担当部	担当課	R5年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	上 投人 事業費	.資源 労働量
1 0	_	_	子育てのための施設等利用給付事業	Â	гн	11.5	教育部	教育総務課	353, 129	0	***	現状のまま継続		現状維持
0			幼稚園振興事業				教育部	教育総務課	1, 201	0	***	見直して継続	増加	増加
1 0	1 02		幼保小連携事業				教育部	小中一貫教育指導課	32	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
0	1 02	2 09	高等教育機関連携事業				企画財政部	企画経営課		0	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加
■ 0	1 02	2 10	校務ICT推進事業				教育部	教育総務課	83, 972	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■ 0	1 02	2 10	学校ICT教育推進事業				教育部	教育総務課	96, 562	0	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
Ш														
Ш														
Щ	_													
oxdot														
\perp														
\perp		_												
Ш														
Н-	_													
<u> </u>	_	_												
\vdash	_	+												
\vdash	_													
-		-												
\vdash	+	_												
\vdash	+	+			-									
\vdash	-	-												
\vdash	-													
\vdash	+	+												
\vdash	+	+												
\vdash	+	+												\vdash
\vdash	+	+												\vdash
\vdash		+												\vdash
\vdash	+	+												\vdash
\vdash									2, 684, 956	部の重	業費計			
			Famor 3 amor				L =	-		コレマノ子	~ <u>~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ </u>		w= = m	

施策評価シート(対象・R5年度実施施策)

総合計画の体系	章(施策の柱)	□ 教育文化・コミュニティ 担当部 世当部	(育部
心口可回の下木	節	3 心豊かな青少年を育む環境づくり 2011年3月1日 1日 1	

1. 節の概要

※●は評価主体

市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 **分野別将来目標** 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

家庭・学校・地域や青少年関係団体等が連携して、地域全 体で心豊かな青少年を育てる環境をつくっています。

	成果指標	現状値 計画・目標	H28年度 計画・日標	H29年度 計画・目標	H30年度 計画・日標	R1年度 計画・日標	R2年度 計画・目標	R3年度 計画・目標	R4年度 計画・日標	R5年度 計画・日標	R6年度 計画・目標	R7年度 計画・日標
	/火水 10 示	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	やしお子ども週末活動実施回数と参加者 数	41回 5, 424人	_	_	_	_	50回 6,500人	_	_	_	_	60回 7,800人
1	数	_	36回 5,015人	38回 5,076人	33回 3, 903人	32回 4,377人	0回 0人	1回 346人	7回 960人	18回 2,076人		
2	ジュニアリーダー養成研修会修了者数 (申込定数30名(毎日))	30人	_	_	_	_	30人	_	_	_	_	30人
(a)	(申込定数30名(毎日))	_	16人	22人	37人	26人	0人	0人	0人	13人		
3			_	_	_	_		_	_	_	_	
(S)		_										
			_	_	_	_		_	_	_	_	
4		_										
			_	_	_	_		_	_	_	_	
5		_										

施策の内容	R5年度	、事務事業数		総合評価		担当課
	事業費(千円) 尹衍争未致	順調	概ね順調	遅れ	但当誌
1 青少年育成体制の充実	2,	35 2	1	1	0	社会教育課
2 青少年の社会参加の促進	!	14 1	0	1	0	社会教育課
3 青少年活動の推進		1	0	1	0	社会教育課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	3, '	17 4	1	3	0	

総合計画	i 章(施策の柱)	1 教育文化・コミュニティ	評価主体(部名)	教育部
の体系	節	3 心豊かな青少年を育む環境づくり	評価者名	千葉
評価主体 推進する 施策の概	東海ルな図り 書	の充実を図るため、研修会等を通して、青少年活動の 少年の健全な育成体制を整備する。	の指導者及びリーダーを養り	成するとともに、関係団体の支援活動、団体間の連

3. 節の分析	(部が展開する節の分析)
施策の 実施状況	(説明) 小学校高学年を対象に八潮市子ども会育成者連絡協議会等と連携し、ジュニアリーダー養成研修会やレクリエーション講習会を実施した。 また、例年、地域の教育力を活用した子どもたちの週末体験活動として、やしお子ども週末活動推進事業「やしお子ども土曜広場」を市内小学校7校で18講座を実施した。
	課題はほとんどない ● ある程度課題がある 大きな課題がある
課題	青少年が気軽に集い、そして世代間の交流ができる安全で安心 な居場所のさらなる確保が課題である。
4.節の評価	(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	青少年育成八潮市民会議をはじめとする青少年育成関係団体等の各事業が展開でき、市民ぐるみで青少年の健全育成を推進することができた。

5.	今後	えひり	力針	(部か展開する)	中の力針)									
				■現状のまま推進	見直し	て推進		大幅に見直し	て推進					
	方向	性		-			====							
					- →	重点化(拡	充)	縮小	その他					
			()	説明)										
	施策	σ		大古の書小年製	なさけ ル	油古丰/	小年は	+	何のまし 害					
	悪婦プ		小	本市の青少年教育は、八潮市青少年健全育成条例のもと、青 少年育成関係者や団体との協働により進めており、今後も多く										
				の市民の参画により青少年健全育成運動を広げていく。										
■ #	上古	- **	(立7~	で5事業まで)										
= 4				こり争未よじ)										
			<u>ード</u>	施策の	内容			事務事	業					
1	章	節	施策	丰小左去卍 从出	の大字	主』	、左去	出出さ	ノル事業					
<u> </u>	01	03	01	青少年育成体制				成体制づい						
2	01	03	03	青少年活動の推	進		ノ牛の	居場所づり	くり事業					

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)

	【別紙】即を構成 9 る事務事未切評価結果(対象年度 RO 年度) ※■は評価主体を表 9 NU. I														
主 体	施第章	ŧコ- 節		事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R5年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性		.資源 労働量
	01			青少年指導者養成事業				教育部	社会教育課	412	0	$^{\updownarrow}$	現状のまま継続		
	01			青少年育成体制づくり事業				教育部	社会教育課	2, 123	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01			社会参加促進事業				教育部	社会教育課	914	0		現状のまま継続		
	01			青少年の居場所づくり事業				教育部	社会教育課	268	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
L															
L															
L															
L															
L															
L															
L															
L															
_															
L															
H															
-															
H					-										\vdash
H	<u> </u>				-										
H															
H															
H															
\vdash	 														\vdash
\vdash	\vdash	$\vdash\vdash\vdash$													\vdash
H	\vdash														\vdash
\vdash	\vdash	\vdash													
										2 710	部のす	 ≆業費計			
				F-mora -morale-						3, 110	コレック子	不良미			

施策評価シート(対象:R5年度実施施策)

総合計画の体系 章 (施策の柱) 教育文化・コミュニティ ●教育部 担当部 4 社会の要請に応えた教育の環境づくり

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

社会の要請に応えた教育の環境づくりが進み、市民の様々 な社会教育に対するニーズが満たされています。 家庭教育に関する学習機会が充実し、家庭の教育力が向上 しています。

	大心中山 木	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画·目標							計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	社会教育に関する講座数と参加人数	61講座 3,221人	-	_	_	_	65講座 3,250人	-	_	_	_	70講座 3,500人
(I)	11 公子 日 日 月 り 日 西 庄 奴 こ 参加 八 奴	_	69講座 3,483人	65講座 3,613人	68講座 3,268人	65講座 2,663人	29講座 957人	43講座 1,379人	52講座 1,394人	53講座 2,826人		
<u></u>	家庭教育に関する講座数と参加者数	111講座 3, 205人	1	_	_	_	120講座 3,250人	1	-	_	_	125講座 3,300人
(4)		_	111講座 3, 222人	111講座 3, 193人	108講座 3, 234人	108講座 3,042人	39講座 1,314人	54講座 1,845人	39講座 410人	9講座 185人		
<u></u>	市民大学・市民大学院延べ卒業者数	326人	ĺ	_		_	480人	ĺ		_	_	600人
0	市民八子・市民八子院延、午来有数 	_	372人	394人	417人	434人	434人	449人	460人	473人		
	図書館利用者数と貸出数	207, 302人 427, 317点	_	_	_	_	229,000人 454,000点	_	_	_	_	241,000人 477,000点
4)	囚官昭州四日奴と貝山奴	_	217, 624人 423, 733点	216, 459人 413, 551点	204, 678人 394, 120点	191, 009人 405, 224点	95,851人 230,553点	120, 192人 313, 348点	161,810人 400,154点	190, 547人 485, 336点		
5			-	_	_	_		_	_	_	_	
		_										

	 施策の内容	R5年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	尹仍尹未奴	順調	概ね順調	遅れ	* ***
1	社会教育活動の充実	37, 230	2	0	2	0	社会教育課、社会教育課 公民館・図書館
2	社会教育活動の推進	4, 298	3	0	3	0	社会教育課、社会教育課 公民館・図書館
	家庭における教育の充実	1, 226	1	0	1	0	社会教育課
4	社会教育環境の整備	100, 119	2	0	2	0	社会教育課 公民館・図書館
5							
6							
7							
8							
9							
10							
	計	142, 873	8	0	8	0	

総合計画	章(施策の柱)	1 教育文化・コミュニティ	評価主体(部名)	教育部
の体系	節	4 社会の要請に応えた教育の環境づくり	評価者名	千葉
佐生の無声	協働したまちづくり 域に根差した魅力を	ズと現代的課題に応えた公民館講座の充実に努める。全て りに貢献できる市民を育成していくため、魅力ある市民大 ある学校づくりの推進、地域の教育力の活性化、地域文化 共し、市民の様々な学習要求に応えるとともに、生涯にわ	学・大学院事業を進 の向上を図る。図書	めるとともに、生涯学習学校開放講座を通して、地 館における資料の収集、整理及び保存により、市民

3. 節の分析(部が展開する節の分析)

(説明) 公民館講座では、市民の学習ニーズと現代的課題に応えた講座 を開催し、好評を博した講座を開設することができた。家庭教育 では、「いのちの大切さを学ぶ講座」を市内小中学校で実施し、 子どもたちや保護者を含め、命の大切さ、尊さについて理解を深 施策の めることができた。市民大学・大学院事業では、大学生9名と大 実施状況 学院生4名が卒業し、市民と行政の協働によるまちづくりを進め るための人材の育成と学習内容を提供することができた。図書館 では、りらーと八幡の大規模改修工事以降、来館者が増え続けて いるなど、市民の利便性の向上と学習環境の向上につながった。 課題はほとんどない ●ある程度課題がある 大きな課題がある 学校開放講座では、開設校が減少しているため、引き続き働き かけを行う必要がある。家庭教育では、「家庭教育学級」の開設 が減少傾向にあり、講座開設の必要性を再度、周知していく必要 |がある。市民大学・大学院事業では、入学者数が10名程度とここ 課題 数年は横ばい状態であり、協働によるまちづくりの担い手となる 人材を増やす方法を検討する必要がある。りらーと八條では、多 くの市民から利用しやすい環境整備が求められており、施設設備

4 節の評価 (部が展開する節の総合評価)

· · »	(HEA DENIL)
総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	課題がある中でも、社会情勢の変化に合わせ、これまでの取り 組み方を見直し、改善していくなど、柔軟な対応により各種事業 を展開するとともに、市民の学習要求に応えた取組を継続して推 進することができた。

の老朽化に対応する改修等が必要となっている。また、指定管理 者制度を導入しているりらーと八條においては、集客力の向上に つながる創意工夫を凝らした事業展開を行う必要がある。

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

☆☆:概ね順調(最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調)

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

	■現状のまま推進 見直して推進 大幅に見直して推進
方向性	- → 重点化(拡充) 縮小 その他
施策の 展開方針	(説明) 公民館講座では、Wi-Fi環境の整備を機に、デジタルデバイドの解消に向けた講座を展開していくなど、社会情勢の変化に対応した、市民の学習ニーズと現代的課題に応えた講座を開設していく。家庭教育では、受け皿としてのPTAに対し、講座内容の質の確保とPTA保護者の負担軽減の両方のバランスを見極めながら、柔軟な対応により「家庭教育学級」の開設をお願いしていく。市民大学・大学院事業では、若年者や就労者など、それぞれのライフステージに考慮した、誰もが学びやすい環境づくりに努めていく。図書館では、りらーと八幡について、児童書コーナーを充実させたことに合わせ、児童書の蔵書も充実させていくとともに、指定管理者制度を導入しているりらーと八條では、民間事業者のノウックを生かした、集客力の向上につながる事業展開を引き続き取り組んでいく。

= =	■重点手术(叩じずんよじ)								
	施領	長□-	ا 7,	施策の内容	事務事業				
	章 節 施策			ル東の内谷	学 物学术				
1	01	04	01	社会教育活動の充実	地域学習活動推進事業				
2	01	04	02	社会教育活動の推進	市民大学・大学院運営事業				
3	01	04	03	家庭における教育の充実	家庭教育推進事業				
4	01	04	04	社会教育環境の整備	公民館施設管理事業				
5	01	04	04	社会教育環境の整備	図書館施設管理事業				

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

	主施策コード			明成りる事務事業の計画和素(対	_	戦			は計画主体を表り	R5年度事業費				切り ねんしゅう かんしゅう かんしゅ かんしゅう かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ	資源
		節		事務事業名	主要	略		担当部	担当課	(決算額:千円)	課題	総合評価	方向性		労働量
				地域学習活動推進事業				教育部	社会教育課	865	0	☆☆	現状のまま継続		
				図書館情報提供事業				教育部	社会教育課 公民館・図書館	36, 365	0	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
)1	04	02	社会教育推進事業				教育部	社会教育課	249	_	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
)1	04	02	市民大学・大学院運営事業				教育部	社会教育課	3, 045	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
)1	04	02	公民館運営事業					社会教育課 公民館・図書館	1,003	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
)1	04	03	家庭教育推進事業				教育部	社会教育課	1, 226	\circ	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
)1	04	04	公民館施設管理事業				教育部	社会教育課 公民館・図書館	8, 094	\circ	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
)1	04	04	図書館施設管理事業				教育部	社会教育課 公民館・図書館	92, 025	\circ	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
П															
П															
П															
П															
П															
П															
П															
П															
П	T														
	T														
П	T														
П															
	T														
										142, 872	部の事	業費計			
				F== 8= 1 == 8= 1 + 1 = 1 /	18 1		_	上フロボ=田田ドナフ		/ E to A		A A 11177 - 12	Inw 1	- 비포 크다	1 1 1 L

施策評価シート(対象・R5年度実施施策)

				<u> </u>	_	Z N /	
総合計画の体系	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	担当部		企画財政部	教育部
心口可凹の下木	節	5	人権を尊重する社会づくり	TE III			

1. 節の概要

※●は評価主体

市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 **分野別将来目標** 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

家庭・学校・地域や職場等のあらゆる場において、人権教 | 育についての学習機会や啓発活動が充実しており、市民一 人ひとりの人権に対する意識の高揚が進み、差別や偏見の ない明るいまちとなっています。

	*B.M.E	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標				計画・目標		計画・目標				計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	 人権に関する研修、催事回数と参加者数	28回 3,051人	_	_	_	_	35回 3,500人	_	_	_	_	40回 4,000人
1)	八催に戻りる明じ、惟ず四数こ参加省数	Ī	29回 3, 249人	30回 1,268人	32回 3, 304人	28回 3,100人	24回 349人	25回 881人	11回 129人	18回 1,004人		
2			_	_	_	_		_	_	_	_	
4		_										
3			_	_	_	_		_	_	_	_	
3)		_										
4			_	_	_	_		_	_	_	_	
4)		_										
(5)			_	_	_	_		_	_	_	_	
(5)		_										

施策の内容	R5年度	事務事業数		総合評価		担当課
	事業費 (千円)	争伤争未致	順調	概ね順調		
1 人権教育の推進	1, 420	1	1	0	0	社会教育課
2 人権啓発の推進	3, 682	2	2	0	0	人権・男女共同参画課、社会教育課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	5, 102	3	3	0	0	

総合計画	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	評価主体 (部名)	企画財政部
の体系	節	5	人権を尊重する社会づくり	評価者名	香山
	人権は、全ての人間 の実現に努める。	引の1	尊厳に基づく固有の権利であることに鑑み、様々な人材	権問題に対し、啓発活	舌動を通じて基本的人権の尊重、擁護と平等な社会

5 体の八七 (如ぶ屋間士7体の八七)

3. 節の分析	(部が展開する節の分析)
施策の 実施状況	(説明) 「八潮市人権施策実施計画」に基づき、市民、市職員、教職員等を対象にした様々な研修を実施するとともに、広報やしお、市ホームページ等のほか、人権に関するイベントを実施して人権意識の高揚を図るための啓発活動を実施した。
	課題はほとんどない ■ ある程度課題がある 大きな課題がある
課題	インターネットの普及により、誤った情報の拡散やSNSなどを 通じた誹謗中傷などの人権侵害が行われている。 このため、正しい知識の啓発がより重要となる。
4. 節の評価	(部が展開する節の総合評価)

· · › › › › › › › › › › ›	(日の 次の) のからから日下面/
総合評価	評価理由
☆☆☆順調	人権を尊重する社会を実現するため、啓発活動や学校教育、社会 教育、研修事業等を実施し、多くの市民が受講し、順調に成果が あがっている。

5 今後の大針(如が展問する筋の大針)

5. 71をの力型	(叩が展開する即の力型)	
方向性	● 現状のまま推進 見直して推 重点(進 大幅に見直して推進 大幅に見直して推進 と(拡充) 縮小 その他
施策の 展開方針		
	邪で5事業まで)	
施策コー 章 節 施	<u>ド</u> 施策の内容	事務事業
1		
2		
3		
4		
5		

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)

☆☆:概ね順調(最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調)

	【別紙】即を構成する事務事業の評価結業(対象年度R3年度) ※■は評価主体を表す R5年度事業費 ==													
主 施体 章		ード 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R5年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性		、資源 対働量
01			人権教育推進事業				教育部	社会教育課	1, 420	_	2	現状のまま継続		
1 01			人権推進事業				企画財政部	人権・男女共同参画課	3, 253	0		現状のまま継続		
01			人権啓発事業					社会教育課	429	_		現状のまま継続		
Ш														
		<u> </u>												
\sqcup														igsquare
\vdash				_										igsquare
\vdash														igsquare
\vdash														igwdown
Щ	<u> </u>	<u> </u>							2 2 - 2	±n	- 444 - 1 1			
			「細質」・細質けばし	184.			L 7 10 == 0 == 1 \ L 7	▲ . + キャ:			業費計	1 A A 10T I	we am	

施策評価シート(対象・R5年度実施施策)

総合計画の体系	章(施策の柱)	1 教育文化・コミュニティ	担当部 ● 教育部	企画財政部
心口可凹の下水	節	5 人権を尊重する社会づくり	THE IN THE STATE OF THE STATE	

1. 節の概要

※●は評価主体

市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 **分野別将来目標** | 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

家庭・学校・地域や職場等のあらゆる場において、人権教 | 育についての学習機会や啓発活動が充実しており、市民一 人ひとりの人権に対する意識の高揚が進み、差別や偏見の ない明るいまちとなっています。

	*B.M.E	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標		計画・目標 実績	計画・目標 実績			計画・目標 実績		計画・目標 実績		計画・目標 実績	
		実績 28回 3,051人	<u> </u>	<u> </u>	実績 -	実績 -	夫 頓 35回 3,500人	実績 _		実績 -	<u> </u>	実績 40回 4,000人
(1)	人権に関する研修、催事回数と参加者数	_	29回 3, 249人	30回 1,268人	32回 3, 304人	28回 3, 100人	24回 349人	25回 881人	11回 129人	23回 1,004人		
2			_	_	_	_		_	_	_	_	
		_										
3			_	_	_	_		_	_	_	_	
		_										
4			_	_	_	_		_	_	_	_	
		_										
(5)			_	_	_	_		_	_	_	_	
		_										

施策の内容	R5年度	事務事業数		総合評価		担当課
	事業費(千円)	争伤争未致	順調	概ね順調	遅れ	
1 人権教育の推進	1, 420	1	1	0	0	社会教育課
2 人権啓発の推進	3, 682	2	2	0	0	人権・男女共同参画課、社会教育課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	5, 102	3	3	0	0	

総合計画	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	評価主体(部名)	教育部
の体系	節	5	人権を尊重する社会づくり	評価者名	千葉
評価主体が 推進する 施策の概要			幾関と連携を図り、様々な機会を捉えて人権教育を積 解し、認識を深めるよう講演会等を開催したり、広報?		

かるハゼ (如じ思明士でかるハゼ)

3. 節の分析	(部が展開する節の分析)
施策の 実施状況	(説明) 「部落差別の解消の推進に関する法律」や「障害を理由とする 差別の解消の推進に関する法律」など、人権に関わる法整備が進む中、八潮市人権教育推進協議会と連携して人権教育に取り組む とともに、人権教育や同和教育指導者養成の講座を実施した。また、人権標語や作文を児童生徒から募集し、公共機関や金融機関 等に掲示して広く人権啓発に努めた。
課題	● 課題はほとんどない ある程度課題がある 大きな課題がある 一人ひとりが個人として尊重される社会を継続的に実現するため、あらゆる機会を捉え、人権教育及び人権啓発を実施する必要がある。
4. 節の評価	(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆☆順調	人権教育及び人権啓発を継続して実施することができ、市民の 意識の高揚が図れた。

_ 5	١.	今後	シリナ	一	(部が展開する節の方針)	
					●現状のまま推進 見直して	推進 大幅に見直して推進
		方向	性		→ ■ 1	点化(拡充) 縮小 その他
		施策		る躍人	差別の解消の推進に関する ほえ、家庭、学校、地域、	上関する法律」や「障害を理由とす 必法律」などの人権に関する法律を 職場など、あらゆる場を通して、 ・図るとともに、多様な広報媒体を うめる。
▮	■里				で5事業まで)	
		施第章	節	- ド 施策	施策の内容	事務事業
	1	01	05	01	人権教育の推進	人権教育推進事業
	2	01	05	02	人権啓発の推進	人権啓発事業
	$^{\circ}$					

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)

_															NU. I
主 体			ー ド 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R5年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性		.資源 労働量
	01			人権教育推進事業				教育部	社会教育課	1, 420	_	$\Rightarrow \Rightarrow \Rightarrow$	現状のまま継続		
r	01			人権推進事業				企画財政部	人権・男女共同参画課	3, 253	0		現状のまま継続	現状維持	現状維持
F	01			人権啓発事業				教育部	社会教育課	429	_	$\overrightarrow{x}\overrightarrow{x}\overrightarrow{x}$	現状のまま継続	現状維持	現状維持
L															
L															
L															
L															
L															
L															
L															
L															
L															
F															ļ
F															ļ
H															
\vdash															
H															
H															
H															
H															
H	1	1													
H															-
H															
H		1													
H															
H															
H															
										1,849	部の事	業費計			
				F-mark -marking t			_								

施策評価シート(対象・R5年度実施施策)

		7071		12 7 7 11 U 11		
総合計画の体系	章(施策の柱)	1 教育文化・コミュニテ	1	担当部	●企画財政部	
総合計画の体糸	節	6 平和な社会づくり		뜨크마		

1. 節の概要

※●は評価主体

市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 **分野別将来目標** 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

市民が平和で穏やかな生活を営み、子どもたちが夢や希望 を抱き、次の世代に平和の尊さが語り継がれているやすら ぎに満ちたまちになっています。

	产用长辆	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標	計画・目標 実績	ま 実績	計画·目標 実績	実績	ま 実績	計画・日標 実績	ま 実績	実績	実績	計画·目標 実績	ま 実績
	平和施設見学会実施回数(毎年)	1回	_	_	_	_	1回	_	_	_	_	1回
1)	平 作 他 放 兑 子 云 关 他 回 数 (毋 干)		1回	1回	1回	1回	0回	0回	0回	1回		
2				_		ĺ		ĺ	ĺ	ĺ	_	
a		_										
3			_	_	_			1	-	-	_	
0)		_										
4			_	_	_			-	-	-	_	
4		_										
(5)				_	_	ĺ		ĺ	ĺ	ĺ	_	
		_										

施策の内容	R5年度	事務事業数		総合評価		担当課
	事業費 (千円)	争伤争未致	順調	概ね順調	遅れ	担当誌
1 平和教育の推進	148	1	0	1	0	人権・男女共同参画課
2 平和意識の高揚	0	1	0	1	0	人権・男女共同参画課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
計	148	2	0	2	0	

総合計画	章(施策の柱)	1 教育文化・コミュニティ	評価主体(部名)	企画財政部
の体系	節	6 平和な社会づくり	評価者名	香山
評価主体が 推進する 施策の概要	平和の尊さを、未知	来を担う次の世代に引き継いでいくため、平和推進に関す	る啓発活動を行う。	
加入可以				

3.	即の分析	(部が展開する節の分)	作 开)	
	施策の ミ施状況	て平和への意識向上を	こ平和施設見学会を開催 を図る。 原爆パネル展を開催して	
		課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	課題		参加者の満足度は高いも とめ、対象者に対しての	
	笛の証価	(部が展開する筋の総	A == /= \	

T. MIO/01 IM	
総合評価	評価理由
☆☆☆順調	新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行したことに伴い、4年振りに平和施設見学会を実施することができた。平和パネル展及び原爆パネル展を計画どおり実施し、平和の尊さについて市民に対して啓発することが出来た。

<u> 5.</u>	今後	えひノノ	J亚し	(部か展開する)	引ひノノ] 亚 /						
				●現状のまま推進		見直し	て推進		大幅	こ見直し	て推進	
	方向	性			· Ţ					. – – – – ı		-
					<u>'</u> ▶	Ī	重点化(拡		縮小		その他	
A	施策展開フ	方針	単単言下原	説明) 銭後79年が経済 戦争の悲惨さやを ち市民の平和に対す 京爆パネル展を で5事業まで)	P和の 対象と ける意	尊さる した	を学ぶ機 平和施設	幾会を 発見学	と提供 学会を	#する7 と実施	ため、 する。	引き続
	施策コー 章 節 施			→ 施策())内容			事務事業				
1												
2		_										
3		_										
1			1									

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果(対象年度R5年度)

※■は評価主体を表す

NO. 1

			再成9 の事務事業の評価結果(対				.)	は評価土体を表す						NU. I
主 体 章	策コ- 節	ード 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R5年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入事業費	資源 労働量
1 01			平和推進事業				企画財政部	人権・男女共同参画課	148	0	☆ ☆	現状のまま継続		
1 01			平和啓発事業				企画財政部	人権・男女共同参画課		0	☆☆	現状のまま継続		
								, ,						
	1													
	1													
	+													
	1													
+	+	-		\vdash										
+														
+	+													\vdash
-	+			\vdash										
	+			\vdash				-						
	+			\vdash										
-	+			\vdash										
	1													—
	1													
	╂			\vdash										
\dashv	+			_										
				_					1.40	如の声	光井こ			
			「細質」・細質けばし	12+-			七刀和南洲町北十刀		148 + 7 / [40 A = T	コルノ手	業費計	1 A A 10T L	- UT -ID	مل الحاد الح

施策評価シート(対象・R5年度実施施策)

				<u> </u>	į	Z 7 /	
総合計画の体系	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	担当部		市民活力推進部	教育部
心口可凹の下木	節	7	個性あふれる豊かな市民文化づくり	변크마			

1. 節の概要

※●は評価主体

市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 **分野別将来目標** | 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

個性あふれる豊かな市民文化と豊かな人間性が育まれ、新 しい文化活動が創造されています。

また、市民が地域やまちの歴史に愛着をもち、次の世代に 地域の伝統文化を伝えているまちになっています。

	*B.M.E	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標			計画・目標				計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	 市民文化推進に関する講座数と参加者数	14講座 1,806人	_	_	_	_	20講座 2,000人	_	_	_	_	25講座 2,500人
(「中代文化性医に関する神座数と参加有数	_	12講座 849人	11講座 873人	13講座 1,017人	13講座 1,175人	1 講座	5講座 215人	7講座 400人	8講座 584人		
C	郷土の歴史・文化に関する講座数と参加者数	51講座 8,340人	_	_	_	_	55講座 9,000人	_	_	_	_	60講座 10,000人
4	数数	_	61講座 7,029人	72講座 7,346人	68講座 5, 397人	58講座 5,580人	4講座 167人	43講座 3,874人	68講座 4,992人	69講座 5, 192人		
(;			_	_	_	_		_	1	_	_	
0	ν 	_										
0			_	_	_	_		_	1	_	_	
(4	ν 	_										
([_	_	_	_		_	_	_	_	
	ν 	_										

	 施策の内容	R5年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	争仍争未致	順調	概ね順調	遅れ	担当体
1	文化活動の推進	3, 759	3	1	2	0	市民協働推進課、社会教育課 公民館・図書館、文化財保護課
2	文化施設の充実	107, 540	3	0	3	0	市民協働推進課、文化財保護課
	文化財保護事業の推進	1, 177	2	0	2	0	文化財保護課
4	郷土の歴史・文化普及事業の推進	1, 643	2	0	2	0	文化財保護課
5							
6							
7							
8							
9							
10							
	計	114, 119	10	1	9	0	

総合計画	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	評価主体(部名)	市民活力推進部
の体系	節	7	個性あふれる豊かな市民文化づくり	評価者名	田口
推進する	れる機会を充実する	5 。	化イベントや文化施設での講座を充実するとともに、 設の充実や有効利用、相互の連携を強化する。	アウトリーチ活動に	よる施設外でのイベントを開催し、文化芸術にふ

3. 節の分析(部が展開する節の分析)

3. 節の分析	(部が展開する節の分析)
施策の 実施状況	・新型コロナウイルス感染対策を講じながら、「メセナロビーコンサート」や「ダイヤモンドアフタヌーンコンサート」などのコンサート等の自主事業を実施することができた。 ・施設の機能を維持するために、「非常用照明蓄電池交換修繕」を含む19件の修繕を行った。
課題	 課題はほとんどない ・八潮市民文化会館については、開館以来30年以上が経過し、建物・設備の老朽化が顕著であるため、計画的な修繕が必要である。 ・八潮市民文化会館駅前分館については、効率的な職員配置を検討するとともに、自主事業の実施や展示会等の開催など、施設のより有効な活用について検討する必要がある。
. # _ == !=	(如杉宮明十7姓の外入寺庁)

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
描き写画	八潮市民文化会館・八潮市民文化会館駅前分館では、文化芸術に 触れる機会の充実を図るため、定期的にクラシックコンサートを 開催するなど、多くの市民に利用されている。

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

_	<u> </u>	1 12	(0))	J 121	الماكل درالا	711077	111/						
		方向	州		●現状のまま推進	- 7	見直し 	って推進 		大幅	こ見直し	て推進 	-
	•	ЛHJ	ΊĬ			▶		重点化(拡	充)		縮小		その他
	用	施策開プ	5針	・て今て・し前系	説明) 八潮市 八瀬か市 八瀬か市 八瀬市 八瀬計画 八瀬市 八瀬市 八瀬市 八次 大谷 八瀬市 大谷 八次 大谷 八次 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷 大谷	なクラ 気軽に 会館 は事	シ音、を引実	クコン を親し き続きる。	サー b こ b を全て 安全でまた	トをがで安している。	と施していなは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、<li< th=""><th>て幾会 没運行</th><th>る。 の提供し 営を目指 比会館駅</th></li<>	て幾会 没運行	る。 の提供し 営を目指 比会館駅
Ľ	里里				で5事業まで)								
		施領章	賃□- 節	ード 施策	施策(の内容					事務事	業	
	1	01	07	01	文化活動の推	進		市月	民文化	2推進	進事業		
	2												

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

			- ド	1人 の事が事業の計画和末()		_			は計画工件で表す	R5年度事業費				投入	資源
			施策	事務事業名	主要	略	約	担当部	担当課	(決算額:千円)	課題	総合評価	方向性		労働量
O				市民文化推進事業				市民活力推進部	市民協働推進課	1,057	0	☆☆	現状のまま継続		
0	1	07	01	文化活動推進事業				教育部	社会教育課 公民館・図書館	2, 552	\circ	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
0	1			地域文化活性化事業				教育部	文化財保護課	150		$\triangle \triangle \triangle$	他事業と統合して継続	現状維持	現状維持
= 0	1	07	02	八潮市民文化会館施設管理事業				市民活力推進部	市民協働推進課	79, 447	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
I 0	1			八潮市民文化会館駅前分館施設管理事業				市民活力推進部	市民協働推進課	5, 267	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
0	1			資料館運営事業				教育部	文化財保護課	22, 827	•	☆☆	見直して継続	増加	増加
0	1			文化財保護充実事業				教育部	文化財保護課	996	\circ	$^{\uparrow}$	現状のまま継続		
0	1			文化財周辺環境整備事業				教育部	文化財保護課	181	\bigcirc	☆☆	見直して継続		
0	1			収集資料保存・活用事業				教育部	文化財保護課	183	•	$^{\uparrow}$	見直して継続		
0	1	07	04	郷土の歴史・文化普及事業				教育部	文化財保護課	1, 460	0	☆☆	他事業と統合して継続	現状維持	現状維持
П															
П															
П															
П															
П	T														
										85, 771	部の事	業費計			

施策評価シート(対象・R5年度実施施策)

総合計画の体系	章(施策の柱)	1 教育文化・コミュニティ	担当部	● 教育部	市民活力推進部
心口可凹の体示	節	7 個性あふれる豊かな市民文化づくり	ᄺᆿᇚ		

1. 節の概要

※●は評価主体

市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 **分野別将来目標** | 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

個性あふれる豊かな市民文化と豊かな人間性が育まれ、新 しい文化活動が創造されています。

また、市民が地域やまちの歴史に愛着をもち、次の世代に 地域の伝統文化を伝えているまちになっています。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標				計画・目標			計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	□ □ 市民文化推進に関する講座数と参加者数 □	14講座 1,806人	_	_	_	_	20講座 2,000人	_	_	_	_	25講座 2,500人
		-	12講座 849人	11講座 873人	13講座 1,017人	13講座 1,175人	1 講座	5講座 215人	7講座 400人	8講座 584人		
(② 郷土の歴史·文化に関する講座数と参加者 数	51講座 8,340人	_	_	_	_	55講座 9,000人	_	_	_	_	60講座 10,000人
Ų.	数数	_	61講座 7,029人	72講座 7,346人	68講座 5, 397人	58講座 5,580人	4講座 167人	43講座 3,874人	68講座 4,992人	69講座 5, 192人		
(3		1	_	ı	_		_	1	1	_	
	9	_										
			1	_	ı	_		_	1	1	_	
	4)	_										
			1	_	_	_		_	_	1	_	
	5	_										

	 施策の内容	R5年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	争仍争未致	順調	概ね順調	遅れ	担当体
1	文化活動の推進	3, 759	3	1	2	0	市民協働推進課、社会教育課 公民館・図書館、文化財保護課
2	文化施設の充実	107, 540	3	0	3	0	市民協働推進課、文化財保護課
	文化財保護事業の推進	1, 177	2	0	2	0	文化財保護課
4	郷土の歴史・文化普及事業の推進	1, 643	2	0	2	0	文化財保護課
5							
6							
7							
8							
9							
10							
	計	114, 119	10	1	9	0	

総合計画	章(施策の柱)	1 教育文化・コミュニティ	評価主体(部名)	教育部
の体系	節	7 個性あふれる豊かな市民文化づくり	評価者名	千葉 靖志
評価主体が 推進する 施策の概要	に基づき文化施設の	ためには、良好な学習環境と質の高い学習機会の提供が必 の改修を進めるとともに、魅力ある学習機会の提供に努め こ関しては、文化財調査を進めて新たな文化財の保護に努 る。	て市民文化活動の活	性化及び文化団体の育成を図る。

3. 節の分析(部が展開する節の分析)

(説明) 八潮市文化協会との連携・協力により、書道展、美術展覧会、 文化祭及び音楽祭等の事業を開催し、広く市民の文化活動の推進 施策の 実施状況 が図れた。 また、資料館では、展示会や講座等の実施し、本市の歴史文化 に関する情報発信と学習機会の提供に努めた。 課題はほとんどない ●ある程度課題がある 大きな課題がある 文化活動の推進では、八潮市文化協会との連携・協力による、 更なる市民の文化活動の支援と文化団体の育成が課題となってい 課題 また、資料館の施設改修や途絶・変質の危険性が高まっている 民俗文化財の継承も課題に上がっている。 4 節の評価(部が展開する節の総合評価)

11 M142 H1 HM	
総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	節を構成する全ての事務事業において、総合評価が「概ね順調」 以上の評価であること、また、成果指標についても前年度数値を 上回っていることから、概ね順調に推移していると評価した。

5 今後の方針(部が展開する節の方針)

	■現状のまま推進	見直	して推進	大幅	に見直して	て推進
方向性	-	- →	重点化(拡充	艺)	縮小	その他
施策の展開方針	(説明) 各事務事業は順する。 課題に上がっての連携強化、加入支援と分化団体のまた、資料館のめ、魅力度を高める。	いる文化 団体の加 育成を仮 施設改修		進に関し 、更なる [は、市]	しては。 る市民の 民ニーン	関係団体との文化活動の

|■重点事業(部で5事業まで)

	施領	€⊐-	ード	施策の内容	事務事業						
	章	節	施策	心泉の内谷	学物学未						
1	01	07	01	文化活動の推進	文化活動推進事業						
2	01	07	02	文化施設の充実	資料館運営事業						
3	01	07	03	文化財保護事業の推進	文化財保護充実事業						
4	01	07	04	郷土の歴史・文化普及事業の推進	郷土の歴史・文化普及事業						
5											

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

			^{構成する事務事業の評価結果(対}	象年	度R	5年度	₹) ※ ■	lは評価主体を表す						NO. 1
主 体 章		一ド施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R5年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入 事業費	
01	07		市民文化推進事業				市民活力推進部	市民協働推進課	1, 057	0	☆☆	現状のまま継続		
1 01	07	01	文化活動推進事業				教育部	社会教育課 公民館・図書館	2, 552	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	07	01	地域文化活性化事業				教育部	文化財保護課	150	_	2	他事業と統合して継続	現状維持	現状維持
01	07	02					市民活力推進部	市民協働推進課	79, 447	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	07	02					市民活力推進部	市民協働推進課	5, 267	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01	07	02	資料館運営事業				教育部	文化財保護課	22, 827	•	2	見直して継続	増加	増加
01	07	03	文化財保護充実事業				教育部	文化財保護課	996	\circ	**	現状のまま継続	現状維持	増加
01	07	03	文化財周辺環境整備事業				教育部	文化財保護課	181	\circ	**	見直して継続	現状維持	増加
1 01	07	04	収集資料保存・活用事業				教育部	文化財保護課	183	•	**	見直して継続	現状維持	現状維持
01	07	04	郷土の歴史・文化普及事業				教育部	文化財保護課	1, 460	\circ	**	他事業と統合して継続	現状維持	現状維持
1														
	t													
1														
1														
1														
+														
+														
									28, 348	部の連	上 工業費計		<u> </u>	
							上 フィロナニ田田 バント・		20, 540 L 7 / TWA 5-T				- WT -M	A 1₽ L-

施策評価シート(対象:R5年度実施施策)

総合計画の体系	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 市民活力推進部
松口計画の本木	節	8	ふれあいと連帯感にみちた地域社会づくり	ᄪᆿᇚ	

1. 節の概要

※●は評価主体

市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 **分野別将来目標** 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

町会・自治会をはじめ、ボランティア団体やNPO※等 が、地域コミュニティ活動を主体的に展開しながら、まち づくりに取り組んでいます。

	成果指標	現状値 計画・目標	H28年度	H29年度 計画・目標	H30年度	R1年度 計画・日標	R2年度	R3年度 計画・目標	R4年度 計画・日標	R5年度	R6年度 計画・目標	R7年度
	以 木相保	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
(I)	町会・自治会等の地域活動への参加率	32.60%	_	_	_	_	41%	_	_	_	_	48%
1	一云・日行云寺の地域伯動への参加学	_	20.4%	-	-	17.1%	_	_	15. 6%	_		
<u></u>	ボランティア・市民活動団体登録数	201団体	1	_	_	_	260団体	1	_	_	_	310団体
(a)	かノンノイノ・印氏位勤四件豆嫁奴	_	222団体	235団体	229団体	225団体	268団体	258団体	250団体	245団体		
(D)	NPO法人登録数	16団体	ĺ	_	_	_	20団体	ĺ	_	_	_	25団体
0	111 日本八里政教	_	22件	22件	22件	21件	21団体	22団体	22団体	22団体		
	日本語ボランティアの登録者数	26人	1	_	_	_	45人	1	_	_	_	56人
4	日本品がプンテイテの登録有数	_	36人	34人	34人	44人	49人	52人	64人	44人		
(5)			-	_	_	_		-	_	_	_	
(3)		_										

	 施策の内容	R5年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	尹仍尹未奴	順調	概ね順調	遅れ	
	コミュニティ活動の推進	20, 155	3	0	3	0	市民協働推進課
	コミュニティ環境の整備	13, 737	2	0	2	0	市民協働推進課
3	外国人市民との交流の促進・支援	633	1	0	1	0	市民協働推進課
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
	計	34, 525	6	0	6	0	

総合計画	章(施策の柱)	1 教育文化・コミュニティ	評価主体(部名)	市民活力推進部
の体系	節	8 ふれあいと連帯感にみちた地域社会づくり	評価者名	田口
評価主体が 推進する 施策の概要	もに、より多くのF (2)コミュニティ環	活動の推進:町会自治会、ボランティア団体、NPO等の場 市民にコミュニティ活動への参加を促すことで各地域コミ 環境の整備:コミュニティ施設の整備及び修繕等への支援を の交流の促進:ボランティア団体等と連携し、研修会やイベ	ュニティの活性化を e行う。	促進する。

3. 節の分析(部が展開する節の分析)

(説明) ・町会自治会連合会や各町会自治会、コミュニティ協議会に各種 補助金を交付し、コミュニティ活動への参加と活性化を促進する 事業を実施した。また、町会自治会加入促進月間を設け、市役所 多目的スペース等で町会活動のPRをするとともに、町会自治会連 施策の 合会との連携により、市民まつりや夜市において、加入促進チラ 実施状況 シの配布や、清掃事業者の協力を得て、加入促進マグネットシー トをごみ収集車や公用車に貼付するなどの取組みを行った。 ・多文化共生推進プランに基づき、日本語教室等運営助成金の交 付や、日本語ボランティア養成講座を開催したほか、市民団体と 協働で国際交流フェスティバルを開催した。 課題はほとんどない ●ある程度課題がある 大きな課題がある ・町会自治会と連携して加入率の向上に努める必要がある。 ・やしお生涯楽習館(市民活動支援コーナー含む)の運営にあ たっては、市民活動推進委員会の提言書等を踏まえ、市民ニーズ をとらえた新たな取組みを行う必要がある。 課題 ・多文化共生推進プランに基づき、日本人市民と外国人市民が互 いに認め合い共生できるまちづくりを、各課をはじめボランティ ア団体等と連携して進める必要がある。 ・コミュニティセンターについては、計画的に改修していく必要 がある。

4. 節の評価(部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
₹ > ₹>	町会自治会等の地域活動への参加率については、市民意識調査結果では低い数値ではあるが、ボランティア等の活動団体数やNP O法人登録数は一定の数値を保ち、これらの団体により継続した活動が行われている。また多文化共生推進プランに基づき、日本語教室等運営助成金、日本語ボランティア団体の支援、日本語ボランティアの養成など、多文化推進に関する事業も実施できている。
☆☆☆:順調(:	最終目標達成に向け、順調に成果があがっている) ☆:遅れ(このま

5. 今後の方針(部が展開する節の方針)

5. 今後の万卸	計(部が展開する節の方針)	
	現状のまま推進 ● 見直して推	性進 大幅に見直して推進
方向性	- 	
	▶ 重点	i化(拡充) 縮小 ■ その他
施策の展開方針	め、引き続き町会自治会への へ町会自治会設立や加入を働き ・やしお生涯楽習館内に設置さ 機能の充実を図るとともにいいます。 性化させる取組みを進めてに基づます。 ・多文化共生推進プランに基づ や団体の育成、外国人市民との 職員向け研修の実施など、多	されている市民活動支援コーナー 市民ニーズをとらえ市民活動を活 く。 づき、日本語ボランティアの養成 の交流事業などの取組みのほか、
	部で5事業まで) 	
施策コー	──	事務事業

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

コミュニティ意識高揚事業

多文化交流活動支援事業

市民活動支援事業

☆:遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

章┃節┃施策

01

| 08 | 01 | コミュニティ活動の推進 | 08 | 01 | コミュニティ活動の推進

| 08 | 03 | 外国人市民との交流の促進・支援

01 08 01 コミュニティ 信義高揚事業											WU. I					
01 08 01 コミュニティの機能対象等 ■ 市民係力推進部 市民係機構遊響 19,445 ○ ☆ 文 規定工程給 規決維持 規定維持 10 08 01 市民活動支援事業 ■ 市民活力推進部 市民係機能遊響 178 ○ ☆☆ 規定のまま確認 現決維持 規定維持 178 0 0 ☆☆ 規定のまま確認 現実維持 規定維持 178 0 0 ☆☆ 規定のまま確認 現実維持 規定維持 178 0 0 0 ☆☆ 対象のまま確認 現実維持 規定維持 178 0 0 0 ☆☆ 対象のまま確認 現実維持 規定維持 178 0 0 0 ☆☆ 対象のまま確認 現実維持 規定維持 178 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0					事務事業名	王要	戦略	公約	担当部	担当課		課題	総合評価	方向性		
1 08 01 市民活動支援事業					コミュニティ意識高揚事業	_			市民活力推進部	市民協働推進課	19, 443	0	☆☆	見直して継続		
1		01										0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
1		01	08	01	コミュニティ関係団体育成・活動支援事業				市民活力推進部	市民協働推進課	534	0	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
01 08 03 多文化交流活動支援事業		01	08	02	コミュニティ施設整備事業					市民協働推進課	1, 401	0	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
34,525 部の事業費計		01	08	02	コミュニティセンター施設管理事業				市民活力推進部	市民協働推進課	12, 336	•	2	見直して継続	現状維持	現状維持
		01	08	03	多文化交流活動支援事業				市民活力推進部	市民協働推進課	633	\bigcirc	2	見直して継続	現状維持	現状維持
	П															
	П															
	П															
	П															
【细味】 一细味はてしていた。 ヘートスの文部形だとスートーナといったはとスーク「仏人本体」とと、 「原記」と、 一切に 「原記」と、 アト																

施策評価シート(対象・R5年度実施施策)

総合計画の体系	章(施策の柱)	1 教育文化・コミュニティ	担当部	子ども家庭部
応し計画の体示	節	9 男女がともに育か社会づくり	TE 크 마	

1. 節の概要

※●は評価主体

市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 **分野別将来目標** 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

男女が互いに尊重し合い、性別に捉われることなくあらゆ る分野で活躍できるまちとなっています。

			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
				計画・目標			計画・目標				計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	審議会への女性の登用率	31. 20%	_	_	_	_	35%	_	_	_	_	40%
(I)	毎晩云 ジタロッ豆川十	_	30.5%	31.3%	33. 8%	33. 1%	35.0%	33. 0%	34. 2%	34.8%		
②	相談体制の充実	週3日	_	_	_	_	週4日	_	_	_	_	週5日
1	作的《九天	_	週4日	週5日	週5日	週5日	週5日	週5日	週5日	週5日		
3			_	_	_	_		_	_	_	_	
9		_										
4			-	-	_	-		-		_	_	
4)		_										
(5)			ĺ	ĺ	_	ĺ		ĺ		_	_	
(5)		_										

	施策の内容	R5年度	事務事業数		総合評価		担当課
		事業費 (千円)	尹仍尹未奴	順調	概ね順調	遅れ	
	男女共同参画の促進	74	1	0	1	0	人権・男女共同参画課
	相談体制等の充実	390	1	0	1	0	子ども家庭支援課
	男女平等意識の高揚	150	1	1	0	0	人権・男女共同参画課
4	仕事と家庭・地域生活の両立	0	1	1	0	0	人権・男女共同参画課
5							
6							
7							
8							
9							
10							
	計	614	4	2	2	0	

総合計画	章(施策の柱)	1 教育文化・コミュニティ	評価主体(部名)	企画財政部							
の体系	節 9 男女がともに育む社会づくり 評価者名 香山										
評価主体が 推進する 施策の概要	政策、方針などの女性に対する暴力	女共同参画プラン(見直し版)の基本理念である「誰もが の決定の場への女性の登用率の向上を図る。 力の防止を啓発し、被害者支援体制の充実を図る。 域生活の両立を目指すため、ワーク・ライフ・バランスを		暮らせるまち」を目指す。							

3. 即の分析	(部か展開する節の分析	π)	
施策の 実施状況		:同参画プラン(見直し :向け、各種啓発事業を	
	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
課題		:定の場への女性の登用 、そもそも対象に女性	

4 節の評価(部が展開する節の総合評価)

十. 別の川川	
総合評価	評価理由
	課題はあるものの、第4次八潮市男女共同プラン(見直し版)で 掲げた各施策については着実に実行している。

5 今後の大針(如が展問する筋の大針)

<u> / Ø 07/11</u>	1 (叩が展開する即の刀割)	
方向性	現状のまま推進- Ţ 重点	進 大幅に見直して推進
施策の 展開方針		プラン(見直し版)に基づき、計 らに、目標値を達成するために課
■里只争耒(討	部で5事業まで)	
	ド 施策の内容	事務事業
1		
2		
3		
4		
5		

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)

「加松」即で構成する事務事業の計画和素(対象平度NJ平度)								./	は計画主体を表す					INU. I	
主体		(新)	ード 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R5年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性		.資源 労働量
_	01			男女共同参画促進事業				企画財政部	人権・男女共同参画課	74	0	☆☆	現状のまま継続		
F	01			女性相談体制等充実事業				子ども家庭部	子ども家庭支援課	390	0		現状のまま継続		
h	01			男女共同参画啓発事業				企画財政部	人権・男女共同参画課	150	_		現状のまま継続		
	01			男女共同参画環境づくり事業				企画財政部	人権・男女共同参画課	100	_		現状のまま継続		
F	01		<u> </u>	2020///inda Edebrar - () # 7k	┢═				ALE MANAGEMENT			777	уду (1 31 31) Д	<i>Σ</i> α <i>γ</i> (<i>γ</i> , μα <i>γ</i>)	20 V (//µ21 1
H															
H															
H															
H															
H															
H															
H															
H															
H															
H															
H															
H															
H															
H															
H															
H															
H															
F															
F															
H															
H															
H															
F															
H															\vdash
F															
										224	部の事	業費計			
					10 1.		_	L 7 40					0 A A 40T I	- UT -M	A 18 L

施策評価シート(対象:R5年度実施施策)

総合計画の体系	章(施策の柱)	数育文化・コミュニティ <u>担当部</u> ● 子ども家庭部	企画財政部
応口可凹の下ボ	節	男女がともに育む社会づくり	

_____ 1. 節の概要

※●は評価主体

市では)

生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひと りが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可 **分野別将来目標** 能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うこ (10年後の八潮 とができ、生きがいをもって暮らしています。

多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加 しています。また、誰もが互いを思いやる心をもち、人と人、人と 地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。

基本目標

男女が互いに尊重し合い、性別に捉われることなくあらゆ る分野で活躍できるまちとなっています。

		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	成果指標			計画・目標			計画・目標	計画・目標			計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
1	審議会への女性の登用率	31. 20%	_	_	_	_	35%	_	_	_	_	40%
	食成去、 の女性の登用学	_	30.5%	31.3%	33. 8%	33. 1%	35.0%	33. 0%	34. 2%			
0	相談体制の充実	週3日	_	_	_	_	週4日	_	_	_	_	週5日
<u>a</u>	旧版性間がたため	_	週4日	週5日	週5日	週5日	週5日	週5日	週5日	週5日		
3			_	_	_	_		_	_	_	_	
0		_										
4			_	_	_	_		_	-	_	_	
4		_										
Œ			_	_	_	_		_	-	_	_	
5		_										

	施策の内容	R5年度	事務事業数		総合評価		担当課			
		事業費 (千円)	尹仍尹未奴	順調	概ね順調	遅れ				
	男女共同参画の促進	74	1	0	1	0	人権・男女共同参画課			
2	相談体制等の充実	390	1	0	1	0	子ども家庭支援課			
	男女平等意識の高揚	150	1	1	0	0	人権・男女共同参画課			
4	仕事と家庭・地域生活の両立	0	1	1	0	0	人権・男女共同参画課			
5										
6										
7										
8										
9										
10										
	計	614	4	2	2	0				

総合計画	章(施策の柱)	1 教育文化・コミュニティ	評価主体(部名)	子ども家庭部
の体系	節	9 男女がともに育む社会づくり	評価者名	小林
評価主体が 推進する 施策の概要	女性に対する暴力の	の防止と被害者支援体制の充実を図る。		

3. 即の分析	(部が展開する節の分析)
施策の 実施状況	(説明) DV被害者の早期発見と被害の重度化の予防、及びその他の困難な問題を抱える女性を支援するため、「女性相談」「DV相談」を実施した。
	課題はほとんどない ● ある程度課題がある 大きな課題がある
課題	相談者の複雑多岐に渡る相談内容に対応できるよう、相談室の確 保や相談員を含めた庁内における連携体制の強化が必要である。
4. 節の評価	(部が展開する節の総合評価)

<u> </u>	としている。	(TIN UKIM) A WINDA	© Ц в I /	
総	合評価		評価理由	
	☆☆ ね順調	課題はあるものの、る。	適切に相談対応を行えたため、	概ね順調とす

<u>5.</u>	今後	えひり	丁町	(部か展開する)	印ひノ	つ針)							
	方向性			●現状のまま推進		見直して推	進	大幅	大幅に見直して推進				
				-		重点	· 比(拡充	;)	縮小		·- その他		
Ā	施策	与針	·	説明) 令和 5 年度の組織 明を経て成人を抱え 困難な問題 に対応 1 日施行)に 検討する。	で、 しる か	Jれ目のな 性への支	い支 援に	援体制を関する	が整っ 法律(た。 令和	今後は、 6年4月		
里里				で5事業まで)									
		をコー	_	→ 施策(/)	内容				事務事	業			
1	章	節	施策										
2	1												
3	\vdash												
	\vdash												
4													
5													

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆:順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)

上 施策コード 東次東世紀 主 戦 公								/ *=	は計画主体を表す					INU. I		
主 体			ード 施策	事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	R5年度事業費 (決算額:千円)	課題	総合評価	方向性	投入	資源 労働量	
	01			男女共同参画促進事業		-H		企画財政部	人権・男女共同参画課	74	0	☆☆	現状のまま継続			
L	01			女性相談体制等充実事業				子ども家庭部	子ども家庭支援課	390	0		現状のまま継続			
F	01			男女共同参画啓発事業				企画財政部	人権・男女共同参画課	150	_		現状のまま継続			
H	01			男女共同参画環境づくり事業				企画財政部	人権・男女共同参画課	100	_		現状のまま継続			
F	01	00	<u> </u>	2020///19 EDROL - () # //	┢═				A CIE DA DOLO CIE A DE INICI			777	уду (1 31 31) Д	<i>Σ</i> α <i>γ</i> (<i>γ</i> , μα <i>γ</i>)	<u> </u>	
H																
r																
F																
H																
H																
H																
r																
r																
r																
F																
Г																
H																
Г																
Г																
Г																
Г																
r																
r																
r																
r																
T																
T																
Г																
Г	1															
Γ																
						•				390	部の事	業費計				
					10 1.		_	L 7 40					1 A A LOTT I	- 네포 프피	→ •□ 1-	